

令和6年度（公社）岐阜県理学療法士会主催 県民公開講座

テーマ: 仮想現実(Virtual Reality)技術を用いたリハビリテーション医療機器

「mediVR カグラ」とこれからのリハビリテーション医療の可能性

講師: 森 憲司 先生(岩砂病院・岩砂マタニティ リハビリテーション科 部長)

会場: 岐阜県図書館 多目的ホール (岐阜市宇佐4-2-1)

時間: 10:30 ~ 13:30

令和6年5月19日(日)に、岐阜県理学療法士会主催県民公開講座「仮想現実(Virtual Reality)技術を用いたリハビリテーション医療機器「mediVR カグラ」とこれからのリハビリテーション医療の可能性」と題し、岩砂病院・岩砂マタニティの森 憲司 先生をお招きしてご講演いただきました。当日は約70名の一般および医療・福祉の専門職の方々にご参加いただきました。

公開講座では、脳卒中の症状を画像と合わせ、具体例を交えてわかりやすくご説明いただき、治療介入の難しいイメージのある脳卒中に対するリハビリテーションに関して学ぶことが出来ました。

実際に「mediVR カグラ」を使用されている場面の映像を通して、臨床場面を具体的にイメージすることができたのではないかと思います。

質疑応答の時間には、理学療法士等の専門職の方々から多くの質問があり、森先生の丁寧なご回答を受けて、私自身もより「mediVR カグラ」に関心を持ちました。

今回初めて「mediVR カグラ」の存在を知りましたが、体験ブースでの体験場面を通して、仮想空間を利用することで、安全面に考慮され、障害の重症度に左右されることなく、ゲーム感覚でリハビリテーションを行えるということに脳卒中ハビリテーション医療の可能性を感じました。



今回、ご講演くださった森先生、座長の久保田先生、体験ブースを担当いただいた(株)mediVRの森様、また、公開講座にご参加くださった皆様には心から感謝申し上げます。今後も岐阜県内の理学療法・リハビリテーションの発展に努めてまいりたいと思いますので、皆様のご参加をお待ちしております。

学術局 研修部部員

岐阜清流病院 若井莉紗